

令和元年度 経営発達支援事業 評価シート

評価基準

A: 目標を達成することができた(100%以上) B: 目標を概ね達成することができた(80~99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30~79%) D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満) E: 未実施

I 経営発達支援事業の内容

事業 【「経営発達支援計画」掲載ページ】	項目		令和元年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること【P7】	①中小企業景気動向調査	回	4	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」にて県内の景況を把握。事業計画策定支援時に活用。	A
	②住田町景気動向調査(20社)	回	2	0	実施には至っていない。	E
	③岩手経済研究による情報収集	回	12	12	職員間で刊行物を回覧し、事業計画策定時に有効なデータ等を調査・分析を行った。	A
	④ホームページによる情報発信	回	2	4	岩手県商工会連合会より提供される「中小企業景況調査報告書」をホームページへ掲載。	A
2. 経営状況の分析に関すること【P8】	①巡回訪問件数 (支援対象掘り起しのための巡回数)	件	30	44	巡回訪問により現状や課題等を確認し、活用できそうな支援施策等の情報を提供。事業計画策定支援企業の掘り起しにもつなげた。	A
	②商工会報による掘り起し (商工会報の発行数)	回	2	2	事業計画の必要性を掲載した商工会報を6月中旬、8月上旬に発行し、巡回訪問と併せながら事業計画策定の支援企業を掘り起こした。	A
	③経営分析件数	社	4	19	巡回訪問時に収集した情報をもとに、支援企業の経営分析(定量分析・定性分析)を行い、事業計画策定支援に活用した。	A
3. 事業計画策定支援に関すること【P9】	①事業計画策定件数	件	4	19	経営分析を踏まえ、持続的発展を図った事業計画を策定。活用できそうな各種支援施策等も提案し、経営革新計画の策定や、小規模事業者持続化補助金等の採択にもつなげた。	A
	②事業計画策定セミナー開催回数	回	1	1	7/3に講師を招聘しセミナーを開催。8名が参加し、事業計画のメリットや作成時のポイント等について説明を行った。	A
	③創業・事業承継支援件数	件	2	7	町内での創業者2名について、創業支援を行った。また、5社に対し、事業承継計画の策定支援を行った。	A
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【P10】	①計画実施のためのフォローアップ件数 (対象事業所数×4回)	回	24	42	12社に対し、計42回巡回訪問。進捗確認や支援施策等の情報提供、専門家派遣等を行った。	A
5. 需要動向調査に関すること【P10~12】	①消費者ヒアリング調査	回	1	1	9/7小売店を対象とした消費者モニター調査を実施。参加店の商品、サービス等に対する調査結果をフィードバックし、販促ツールの見直し等による各店の顧客満足度向上を図った取り組みにつながった。	A
		社	3	3		A
	②首都圏における需要動向調査 (消費者ニーズ調査)	回	1	1	9/29に物産展物産展「大船to大船渡」(神奈川県鎌倉市)、11/6~9「テストマーケティングin銀河プラザ」(東京都中央区)にて併せて実施。消費者から参加事業者の商品について調査を実施。調査結果をフィードバックし、商品開発や今後の事業計画策定に活用。	A
		社	3	3		A
	③首都圏における需要動向調査 (トレンド調査)	回	1	1	1/22に岩手県産(株)のバイヤーを招聘し、首都圏のトレンドについて参加事業者に対して説明。各事業者毎へのアドバイスをもらうと同時に、商品の改善点等が明確となり、販路開拓の実現性を高める機会となった。	A
		社	3	5		A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【P12~13】	①商談会・物産展支援者数	社	5	5	9/29に物産展物産展「大船to大船渡」、11/6~9「テストマーケティングin銀河プラザ」、11/13の「マチナカ商談会」、1/22の「岩手県産との個別商談会」において計5社が出展。成果向上を図り、出展支援を行う。	A
	②ニッポンセレクト.com出展支援者数	社	3	0	全国商工会連合会が運営するECサイト「ニッポンセレクト.com」への出店推奨を個社支援時に行っているが、商品登録までには至っていない。	D
	③SHIFT利用事業所総数	社	26	16	全国商工会連合会が提供しております無料ホームページ作成ツール「SHIFT」の利用促進を個社支援時に行っているが、新規企業登録までには至っていない。	D
	④フェイスブック活用講習会開催回数	社	0	-	今年度の実施計画なし。	-
	⑤フェイスブック利用事業所数	社	15	2	個別相談時にフェイスブック以外のSNSを含め活用を推奨しているが、目標数値には至っていない。	D

II 地域経済の活性化に資する取組み

事業	項目		元年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 地域経済活性化イベント事業【P13】	町内各種イベント	-	-	-	6/2種山高原山開き、7/27夏まつり・花火大会、9/7青空市、10/27住田町産業まつり、12/10~31歳末大売り出し、1/3抽選会の実施またはイベント運営の協力により、地域の活性化に寄与した。	-
2. 町内各組織の連携強化と中心商店街の活性化【P13~14】	①特産品開発支援	社	2	5	地場産品を活用した商品に対し、専門家や岩手県産(株)の支援により販路開拓に係る支援を行った。	A
	②地元木材を活用した商品開発支援	社	2	0	商品開発支援までは至らなかったが、事業者への巡回訪問等は行っていた為、評価「D」。	D
	③森林林業日本一を目指す町PR支援	回	1	0	実施には至っていない。	E

III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目		元年度		実績	評価
			目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること【P14~15】	①経営改善貸付連絡協議会参加	回	2	2	6/14、10/30(共に一関市で開催)に参加し、得られた情報については、小規模事業者の個別指導の際に活用している。	A
	②保証協会主催の懇談会	回	1	1	1/29(大船渡市で開催)に参加し、気仙管内の景況等について情報交換を行い、事業計画策定支援時に活用している。	A
	③住田町地域経済活性化推進協議会	回	1	0	実施には至っていない。	E
	④行政との情報交換	回	1	1	9/27に町長、副町長、担当課職員による情報交換を行い、町内企業の情報共有、町の支援施策等についての詳細を確認し、個社支援時に活用。	A
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること【P15~16】	①岩手県商工会連合会の研修	回	16	21		A
	②全国商工会連合会の研修	回	1	2	職員向けの各種研修会への参加により、景況の把握や支援ノウハウの取得等、資質向上を図っている。	A
	③中小企業基盤整備機構の研修	回	1	1		A
	④商工会内研修	回	12	12	毎朝職員間でミーティングを行い、当日の業務内容や情報共有により、会員支援に役立っている。	A
3. 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること【P16】	①企画委員会の設置による事業の評価・検証	-	-	-	8/8に企画委員会を立ち上げ、2/17に今年度事業の評価・検証を行った。	-